

「養育を語る会」設立 20 周年記念の集いへのご案内

— 養育論を作る - 思想が生み出す現場の力 —

2019. 1. 15

鳥取こども学園理事長 藤野興一

オブユード研究所所長 野辺公一

☆ 日時：2019年2月22日(金) 10:00~16:00

☆ スケジュール：9:30 受付開始、10:00 開会あいさつ及び趣旨説明、10:15~12:15 記念講演、12:15~13:15 昼食休憩(軽食を用意します。実費を頂きます。)、13:30~16:00 施設訪問及びフリートーク。16:00~海陽亭Tel0857-31-4649にて交流会(会費 6,000 円)

☆ 場所：鳥取こども学園 教育棟研修室

☆ 記念講演：「養育論を作る - 思想が生み出す現場の力」

- 講師：芹沢俊介(評論家) 略歴：上智大学経済学部卒業。吉本隆明に師事し、文学論などから、教育論、宗教論などに論陣を張る。近年は家族、教育に関する著作が中心である。グループホーム(養護施設)との関係から生まれた、養育論は他に類を見ない完成度の高さをみせている。ひきこもり、児童虐待、少年事件、宗教等においても徹底的に考え抜くという姿勢で幅広く発言している。また、ひきこもりにおいてはマスメディアで騒がれはじめた今世紀初頭から徹底してひきこもりの必要性を訴え続けてきている。
- 趣旨：① 1986年に全国養護施設高校生交流会運動からの一時的撤退を決断して以降、施設改革の新たな全国展開として鳥取養育研究会の全国版とも言うべき実践に基づく「養育理論」構築を目指して、研究会発足を呼びかけた。藤野が呼びかけの文章を書き、神奈川の「杜の会」の故師康晴さん、「遠藤ホーム」の遠藤浩さん、「光のこどもの家」の菅原哲男さんなどが中心メンバーとなって、会の名称を「何の会」⇒「養育を語る会」として、全国の児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、の施設長や児童相談所の職員など20人前後の集まりを2カ月に一度開催した。松橋秀之さん達の児相関係の会に私や芹沢さんが呼ばれた横浜での集まりで、師さんが芹沢さんに声をかけて芹沢さんと野辺公一さんが参加するようになった。② 毎回、野辺さんが丁寧に記録を取り、その後は「芹沢俊介 養育を語るシリーズ全六巻 刊行にあたって」に書いてある通りである。③ それから20年にわたって続けられ、2016年5月14日には100回を記念してシンポジウムを開催(101回の記録に詳しく述べられている)。2019年1月12日第116回を数える。毎号1000円という値段も手ごろで大変よくまとめられている。出来るだけ多くの方に読んでいただきたい。

☆ 参加費は無料：交流会を含めて多くの方のご参加をお待ちします。
(準備の都合上2019年2月8日までにお申し込みください)。

➤ 参加申し込み(裏面申込用紙にて)及びお問い合わせは下記へ

〒680-0061 鳥取市立川町5丁目4 1 7番地

TEL: 0857-22-4206 FAX: 0857-23-0242 (担当: 山本隆史、藤野謙一、水野壮一)

『「養育を語る会」設立 20 周年記念の集い』 参加申込書

所属機関名： _____

※参加・申込される欄に○をご記入ください。

氏名	記念講演	昼食 (実費)	施設訪問及び フリートーク	交流会 (6,000円)

申込先：鳥取こども学園（担当：山本隆史、藤野謙一、水野壮一）

FAX 0857-23-0242

E-mail t-yamamoto@tottorikodomogakuen.or.jp

準備の都合上、2019年2月8日までにお申し込みください